事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

令和3年3月実施

		チエツク項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活発に動きたい方と静かに過ごしたい方のスペースをその日の状況で場所を作っているが、安全に過ごせるためにも場所の確立は必要。個室スペースの改装を行った。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準となる人員はいるが、マンツーマン対応が必要な児童が多いため勤務調整をしながら受け入れをしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル （目標設定ど辰り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の終礼で振り替えりを行い、意見を出し合い改善策を検討している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公表している。フロア内にも掲示をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者からの評価は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナの状況もあったため今年度は研修会への参加は出来ていない。日々の支援の中で困ったことなどを専門機関に相談し、実践したり本の購入で学習をし実践した。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			コロナの状況もありモニタリングは電話連絡等で行う事が多かった。直接顔を合わせての面談ではない為、十分に聞き取りが出来ているか不安に思う所はある。個別支援会議での内容も踏まえて報告し、家族の意向も伺いながら計画書の作成を行うように心掛けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		法人内のアセスメントツールを使用している。内容の見直しは必要かどうか定期的に確認は必要かと思う。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日の朝礼で利用児童に合わせて活動や過ごし方を考えている。児童にも提案しながら児童の意見も聞き決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			上記と同じであるが、偏らないようには気を付けて提案してる。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日の短時間と1日ご利用の時の利用時間に合わせて、全体での活動、個別の課題など、それぞれの児童に合わせて時間の設定を行い対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別での課題や集団の中での課題をそれぞれの児童に合わせて計画書の中に反映し作成できるように努力している。 全ての児童に対してより具体的に組み込んでいきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、朝礼で打合せを行い支援にあたっている。個別対応が必要な児童対応や、過ごすスペースに対しての職員配置などその日、その時の状況に合わせて職員同士声を掛け対応している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼で振り返りを行っている。課題として上がったことはその都度どのようにするか相談しすぐに対応出来る様に努力している。施設内の情報共有ツールであるサイボウズを利用して休みの職員とも情報共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		個別支援計画に合わせた記録を心がけている。毎日、評価表の記録も行っているが、できなかった部分に対しての改善を早急に行えるようにしていく必要はある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			今年度は、コロナの状況があり電話で行ったが、こちらでの評価をお伝えしながらご家族と話を行い見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		基本活動は組み込んでいる。ガイドラインの周知は職員内で出来ていない為今後学習していきたい。 コロナの状況下ではあったが、近隣を散歩しながら顔を覚えていただき声を掛けて頂く場面も増えたと感じている。
関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			今年度は、コロナの状況で会議開催が出来ない事は多かったが、相談員からや他事業所からの連絡については、管理者やリーダーが対応をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校送迎時に行っている。必要に応じて学校への連絡も行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの児童はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前の会議にて情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業をされる前に実施される会議にて情報共有を行っている。その他必要に応じて情報提供をしている。

の連携関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて専門機関に連絡を行い相談し、助言を頂き実践し、その後の報告も行った。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		○		法人としては、自立支援協議会に関わる分科会への参加も行っている。今年は、コロナの状況で分科会も開催が活発にはされていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡帳や送迎時に報告を行っている。場合によっては電話で報告等行い情報共有している。共通理解というところでは、保護者によっては、お話しする場面を作れないなどで難しい所もあるが、必要な時には支援について相談員に相談と協力しながら進めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ご家族とお話をしながら一緒に児童に対してどのように支援を行なえばよいか考えながら進めている。家族と一緒に・・という気持ちで取り組ませてもらっている。こちらで対応した部分で良い効果があった場合など情報交換している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		運営規定については出来ていない。契約時に利用者負担や支援の内容については説明をしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			全てではないが、保護者とのコミュニケーションには心掛けて悩みなどには一緒に考える事は心がけている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		毎年保護者交流会は実施しているが、今年はコロナの事もあり実施できていない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情への対応は、すぐに対応できるように努力している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		広報誌を年に3回発行している。 (前年度は2回)今後も発行を増やしていきたい。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者に対しても直接お話をした方が良い場合はお伺いしてお伝えしていることもある。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	毎年地域を招いたお祭りが法人内で行われているが今年度は感染防止の為行われていない。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者に対しても周知が出来ていない。モニタリング時に確認して頂けるようにしていきたい。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年に2回避難訓練を実施。併設のグループホームと一緒に実施しているが、独自で実施も必要かと思っている。

非常時等の対応	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			権利擁護研修会が今年はビデオ研修で行われた。また職員のチェックリストも行っている。 部署の会議等でも、自分たちの利用者様に対しての対応について職員で話をしたこともある。そのような機会を増やしていくことで権利擁護の意識は高めていきたい。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		どのような部分が虐待にあたるのか組織で検討するには至っていない。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		アクシデント・ヒヤリハットについては終礼等で報告。またサイボウズでも共有できるようにしている。